

CASBEE-建築(新築)2014年版
九州大学(伊都)国際化拠点図書館

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境			0.40		-			3.4
1 音環境		3.0	0.15		-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.6	0.35		-			3.6
2.1 室温制御		3.0	0.50		-			
1 室温		3.0	0.60	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式	吹抜け部分は床吹出し方式を採用(機械Ⅱ期M-037参照)	5.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.3	0.25		-			3.3
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-			
1 昼光制御	ブラインドと庇の計画(建築D-34参照)	4.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境		3.7	0.25		-			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の仕上材をほぼ全面的に採用(建築D-7参照)	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙としている	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30		-			3.5
1 機能性		3.7	0.40		-			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30		-			
1 広さ感・景観	教室・閲覧室の天井高3.2m以上(建築D-34.42参照)	5.0	0.50	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画	閲覧室内の内装計画をCG・模型等を活用して計画(CG参照)	5.0	0.50	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材の採用や外壁面への水切の設置等(建築D-	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.5	0.30		-			3.5
2.1 耐震・免震		3.8	0.50		-			
1 耐震性	建築基準法の25%増の耐震性を確保	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水(上水)・給湯にSUSを排水に耐火二層管を採用(機械特-002)	4.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.6	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備	個別:ガス熱源、中央空調:電気熱源(Ⅰ期M-001,Ⅱ期M-001~005)	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	通信手段の多様化,TV設備の導入(Ⅰ期E-075~151Ⅱ期E-148~224)	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	-
1	階高のゆとり	教室・閲覧室の階高は3.7m以上(建築D-34.42参照)	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		キャンパスカラーに合った外観計画、植栽による景観形成等(CG)	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		基準値:486MJ/(㎡・年)に対し設計値:381MJ/(㎡・年)(省エネ計画書)	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.89 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		基準値:43157.9GJ/年に対し設計値38283.6GJ/年(省エネ計画書)	4.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.1	0.20	-	-	3.1
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		キャンパス全体にて雑排水利用システムを採用(節水計画書)	4.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		陶磁器室タイル	3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70	-	-	-
1 消火剤			2.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	0.33	-	-	-
2 振動			3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明なし、光害対策ガイドラインを一部満たす計画	4.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-